

軍務局

收務次官

齊

震第一號

大地震ニ伴フ火災防止ニ對スル

積極的精神ノ振作ニ關スル建議

政府ハ大地震ニ伴フ火災ノ防止ニ

ツキ一般ノ國民カ積極的精神ヲ以

テ之ニ對スル様或ハ普通教育ニ依

リ或ハ警察官消防隊等ヲ介シテ平

素其ノ指導ニカメシメラレ度

教育 3.7.27 接受

3.7.25

官房受

7:21 軍務

右本會ノ決議ヲ以テ謹テ建議ス  
昭和三年七月二十日

震災豫防評議會

會長 栗屋

謙



海軍大臣岡田啓介殿

大地震ニ伴フ火災防止ニ對スル積極的

精神ノ振作ニ関スル建議理由書

凡テ地震ノ災害ハ主トシテ其ノ地震ニ伴ヘル火災ニ歸因スルモノナルコトハ世間周知ノ事實タリ故ニ若シ大地震ニ際シテ火災ヲ防止シ得ベクンバ震災ノ大部分ハ之ニ由リテ免ルルコトヲ得ベシ惟フニ地

震ノ襲來ハ之ヲ避ケ得ベカラズト  
 スルモ火災ハ人カニ依リテ之ヲ防  
 止シ得ベク其ノ成否ハ一ニ之ニ加  
 フル努力ノ如何ニ因ルノニ耐震火  
 構造法ノ發達地震豫知問題ノ研究  
 ノ進捗ニ從ヒ地震ニ伴フ發火ノ原  
 因ノ減小スベキハ想像ニ難カラザ  
 ルモ之ヲ根絶スルハ到底不可能ノ

コトニ屬スベク而モ此等ガ未成ノ  
 域ニ在ル現時ノ如キ状態ニ於テハ  
 火災防止ヲ以テ特ニ震災輕減上ノ  
 第一義ニ置カザルベカデズ然ルニ  
 一朝大震ノ襲来ヲ見ルヤ世人多ク  
 周章狼狽シテ其ノ度ヲ失シ或ハ  
 恐怖ノ價値ナキ餘震若クハ地割レ  
 ニ對シテ徒ラニ畏縮シ假令大震一

過自己ノ安全ナリシヲ覺ルモ身ヲ  
 挺シテ積極的ノ行動ヲ取り火災ヲ  
 防止セントスルモノ尠ク遂ニ收拾  
 スル能ハザルニ至ルモノ比々皆然  
 リ此ノ如キ非常ノ時ニ當リ家屋ノ  
 倒潰ニヨリテ危険ニ瀕セル人命ヲ  
 救護スルハ最モ重要ナル措置ナリ  
 ト雖モ火災ヲ防止シ之ヲ大事ニ至

ラザルニ先ダチテ其ノ撲滅ヲ期ス  
 ルハ噫ニ財産損失ノ防禦タルノミ  
 ナラズ人命救護ニ對シテモ更ニ有  
 効ニシテ且ツ最大ノ成功ヲ收ムル  
 手段タリ左レハ大震ニ遭遇シ須臾  
 ニシテ自己ノ安全ナリシテ自覺ス  
 ルモノハ老幼ヲ問ハズ男女ニ論ナ  
 ク凡テ一齊ニ起ツテ火災ノ防止ニ

努力スルヲ要ス徒ニ消極的ノ行動  
 ニ陥リ逃避ヲ事トスルガ如キハ地  
 震國ノ國民トシテ採ラザル所ナリ  
 之ヲ要スルニ大地震ニ際シ之ニ伴  
 フ火災ノ防止ニ對シテ採ルベキ如  
 上ノ積極的精神ハ或ハ之ニ関スル  
 一篇ヲ尋常小學校ノ課程ニ加フル  
 ガ如キ方法ニ依リテ児童教育ニ資



シ或ハ警察官消防隊青年團在郷軍  
 人會等ヲ此ノ精神ニヨリ指導シテ  
 非常時ニ於ケル消防法ヲ平日ニ於  
 テ講究訓練セシムルガ如キ手段ニ  
 依リ大地震時ノ災害ヲシテ極度ニ  
 軽減セシメラレシコトヲ切望シテ  
 止マザル次第ナリ